



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 株式会社フジクラ

上場取引所 東

コード番号 5803 URL <http://www.fujikura.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 伊藤 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート企画室長 (氏名) 芹澤 孝治

TEL 03-5606-1112

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	518,126	6.4	8,630	64.3	7,347	59.8	1,121	
2019年3月期第3四半期	553,414	2.0	24,152	19.0	18,262	38.8	4,150	78.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,334百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 2,200百万円 ( 93.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	3.95	
2019年3月期第3四半期	14.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	643,121	226,008	32.0
2019年3月期	638,318	240,910	33.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 205,503百万円 2019年3月期 216,664百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		5.00	12.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				2.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年2月5日)に公表いたしました「2020年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	5.7	8,000	71.1	7,000	66.7	7,500		26.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	295,863,421 株	2019年3月期	295,863,421 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	17,499,335 株	2019年3月期	10,550,952 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	284,154,128 株	2019年3月期3Q	285,278,357 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来の業績に関する記述についてのご注意)

1. 2019年10月31日に公表いたしました通期の業績予想を、本資料において修正しております。詳細につきましては、本日(2020年2月5日)に公表いたしました「2020年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会の内容の入手方法について)

当社は、2020年2月5日(水)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会のプレゼンテーション資料については、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は5,181億円（前年同期比6.4%減）、営業利益は86億円（同64.3%減）、経常利益は73億円（同59.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益41億円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「自動車電装カンパニー」を、従来の「エレクトロニクスカンパニー」と統合し、「電子電装・コネクタカンパニー」となっておりますが、報告セグメントに変更はありません。

#### [エネルギー・情報通信カンパニー]

エネルギー事業部門においてバングラデシュ送電線工事のコスト増の反動により増益となったものの、情報通信事業部門で中国の光関連製品の競争激化等の影響を受けたことにより、売上高は前年同期比7.8%減の2,493億円、営業利益は同44.1%減の66億円となりました。

#### [電子電装・コネクタカンパニー]

##### (エレクトロニクスサブカンパニー)

FPC（フレキシブルプリント配線板）を中心にスマートフォン向けで減収となったことにより、売上高は前年同期比10.0%減の1,385億円となりました。また、需要の変動や品種構成の変化、減収に伴う固定費負担の増加により、営業利益は同95.0%減の5億円となりました。

##### (自動車サブカンパニー)

為替の影響による減収はあったものの、一部車種の需要が増加したことにより、売上高は前年同期比0.5%増の1,173億円となりました。また、生産性改善に引き続き取り組んでいるものの、営業損失は24億円（前年同期は営業損失23億円）となりました。

#### [不動産カンパニー]

当社旧深川工場跡地再開発事業である「深川ギャザリア」において新規テナントの入居等により、売上高は前年同期比4.1%増の84億円、営業利益は同8.7%増の40億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較し、48億円増加の6,431億円となりました。これは主に、関係会社投資等に伴いのれんほか諸資産が増加したことによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末と比較し、197億円増加の4,171億円となりました。これは主に、関係会社投資等により有利子負債が増加したことによるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末と比較し、149億円減少の2,260億円となりました。これは主に、自己株式取得や非支配株主持分が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月31日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。具体的な内容につきましては、本日（2020年2月5日）公表しております「2020年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,794	37,324
受取手形及び売掛金	141,568	144,312
たな卸資産	117,854	114,504
その他	27,511	26,022
貸倒引当金	△469	△599
流動資産合計	323,259	321,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	92,881	92,455
機械装置及び運搬具(純額)	86,179	96,238
その他(純額)	52,764	48,175
有形固定資産合計	231,825	236,869
無形固定資産		
のれん	2,671	7,304
その他	9,054	8,544
無形固定資産合計	11,726	15,848
投資その他の資産		
投資有価証券	32,526	30,555
その他	39,227	38,494
貸倒引当金	△247	△210
投資その他の資産合計	71,506	68,838
固定資産合計	315,058	321,556
資産合計	638,318	643,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,999	69,103
短期借入金	137,536	143,669
未払法人税等	2,126	2,421
事業構造改善引当金	—	1,980
関係会社事業損失引当金	—	1,854
品質不適合品関連損失引当金	1,514	753
債務保証損失引当金	3,019	25
その他の引当金	191	242
その他	49,786	42,901
流動負債合計	259,174	262,953
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	95,968	85,099
退職給付に係る負債	9,356	11,146
その他の引当金	264	536
その他	12,643	17,376
固定負債合計	138,233	154,159
負債合計	397,408	417,113

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,075	53,075
資本剰余金	29,571	27,903
利益剰余金	131,255	127,269
自己株式	△6,327	△9,582
株主資本合計	207,575	198,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,753	2,406
繰延ヘッジ損益	△345	△32
為替換算調整勘定	8,241	8,228
退職給付に係る調整累計額	△3,560	△3,764
その他の包括利益累計額合計	9,089	6,837
非支配株主持分	24,245	20,505
純資産合計	240,910	226,008
負債純資産合計	638,318	643,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	553,414	518,126
売上原価	456,048	436,441
売上総利益	97,366	81,684
販売費及び一般管理費	73,214	73,054
営業利益	24,152	8,630
営業外収益		
受取利息	314	353
受取配当金	917	1,013
為替差益	—	1,427
持分法による投資利益	1,011	1,164
その他	911	1,560
営業外収益合計	3,155	5,519
営業外費用		
支払利息	2,899	2,790
為替差損	2,987	—
その他	3,157	4,011
営業外費用合計	9,045	6,802
経常利益	18,262	7,347
特別利益		
投資有価証券評価益	—	3,268
投資有価証券売却益	3,289	3,257
債務保証損失引当金戻入額	—	2,822
事業譲渡益	2,415	—
その他	8	6
特別利益合計	5,712	9,355
特別損失		
関係会社出資金評価損	8,003	4,995
事業構造改善費用	1,643	3,441
関係会社事業損失引当金繰入額	—	1,804
退職給付に係る負債繰入額	—	823
品質不適合品関連損失	1,711	—
その他	1,745	256
特別損失合計	13,103	11,320
税金等調整前四半期純利益	10,871	5,381
法人税等	5,252	5,156
四半期純利益	5,619	225
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,469	1,347
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,150	△1,121

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,619	225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,030	△2,389
繰延ヘッジ損益	△341	274
為替換算調整勘定	493	△255
退職給付に係る調整額	645	△190
持分法適用会社に対する持分相当額	△185	1
その他の包括利益合計	△3,419	△2,560
四半期包括利益	2,200	△2,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,162	△3,231
非支配株主に係る四半期包括利益	1,038	896



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

退職給付に係る負債繰入額

タイ王国における改正労働者保護法が2019年5月5日に施行されたことに伴う、退職給付債務の増加額を特別損失として計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、2019年10月31日開催の取締役会において、自己株式の取得を決議し、自己株式6,987,400株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,255百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が9,582百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、当社グループのIFRSを採用する在外子会社は、IFRS第16号「リース」を適用しています。これにより、借手は原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しています。当該会計基準の適用にあたっては、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しました。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第3四半期連結会計期間末の固定資産が5,593百万円、流動負債の「その他」が1,749百万円、及び固定負債の「その他」が3,828百万円、それぞれ増加しています。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー・情報通 信カンパニ ー	電子電装・コネクタカ ンパニー		不動産 カンパニー				
		エレクトロ ニクスサブ カンパニー	自動車サブ カンパニー					
売上高								
外部顧客への売上高	270,339	154,025	116,759	8,136	4,153	553,414	—	553,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	419	224	35	—	7	686	△686	—
計	270,759	154,249	116,794	8,136	4,161	554,101	△686	553,414
セグメント利益又は セグメント損失(△)	11,951	10,892	△2,394	3,753	△50	24,152	—	24,152

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない、事業化を検討している新規事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー・情報通 信カンパニ ー	電子電装・コネクタカ ンパニー		不動産 カンパニー				
		エレクトロ ニクスサブ カンパニー	自動車サブ カンパニー					
売上高								
外部顧客への売上高	249,367	138,561	117,359	8,471	4,367	518,126	—	518,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	399	118	0	—	25	543	△543	—
計	249,766	138,679	117,359	8,471	4,392	518,670	△543	518,126
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,681	540	△2,466	4,081	△206	8,630	—	8,630

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない、事業化を検討している新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「自動車電装カンパニー」は、従来の「エレクトロニクスカンパニー」と統合し、「電子電装・コネクタカンパニー」となっております。

この組織改編に伴い、従来の「エレクトロニクスカンパニー」は「エレクトロニクスサブカンパニー」として、また「自動車電装カンパニー」は「自動車サブカンパニー」として表示しておりますが、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報に変更はありません。